

## 各種ご相談

- ▶ご命日やお彼岸・お盆・報恩講などの読経
- ▶葬儀・法事・納骨・お内仏(仏壇)のことなど、様々な仏事のご相談
- ▶最寄りの大谷派寺院の紹介



## 施設のご利用

広島別院は、様々な用途でご利用いただけます。  
気軽にお問い合わせください。

- ▶法事などの会場
- ▶お斎(食事)の会場 ※仏事をお勤めの方
- ▶仏前結婚式
- ▶学習会・地域集会・習い事の会場



本堂(全席椅子80名収容)



2階座敷(和室18畳)



## アクセス

- 広島駅南口よりタクシー約10分
- 広島電鉄バス  
13号 広島駅～市役所方面 田中町下車
- 広島バス  
50号 広島駅～アルパーク 宝町北下車

## 真宗大谷派(東本願寺) 広島別院

〒730-0044

広島市中区宝町4-16(駐車場11台)

■電話 082-241-5342 (fax 共通)

■HPアドレス

<http://hiroshimabetsuin.com>

真宗大谷派 広島別院

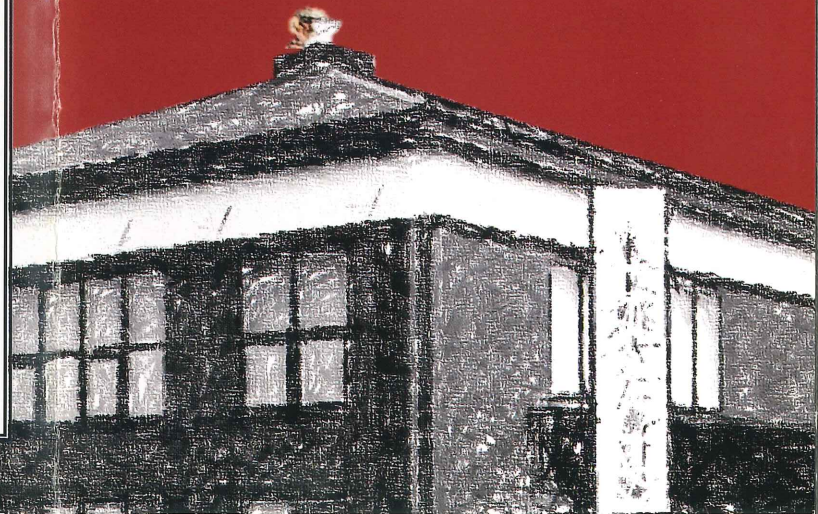
検索

※ご来院の際は、事前にお電話ください。



# 広島別院 明信院

真宗大谷派(東本願寺)



# 世の中安穏なれ 仏法ひろまれ ～親鸞聖人～

## 広島別院 明信院(みょうしんいん)

広島別院 明信院は真宗本願寺(京都・東本願寺)を本山とし、親鸞聖人を宗祖とする真宗大谷派の別院です。

広島別院は戦前まで大手町六丁目にありました。原爆投下によって全壊焼失しましたが、1951年に宝町に寺地を得て復興しました。そして2014年、広島別院・山陽教区同朋会館として再建され、山陽地方の教化拠点として活動しています。

## 明信院の由来

戦国時代、織田信長と石山合戦を戦っていた本願寺の第十二代門首教如上人は、1580年に信長の武力に耐えきれず、本願寺を退去し、約二年間全国各地を転々としてきました。

その間、教如上人は本願寺を支援していた毛利氏を頼って広島にも留まったといわれています。この時に教如上人が滞在した寺が広島別院の母体となりました。

信長の死後、帰京した教如上人は側近の教智にこの寺を託します。教智は院号を「明信院」と名付たことから、広島別院は寺号を明信院と称するようになりました。



教如上人



## 主な年間行事

1月 修正会

3月 春彼岸会

7月 非核非戦法会

9月 秋彼岸会

12月 報恩講

毎月5日 定例法話

いずれもお勤めのあとに法話の時間があります。上記の行事以外にも法要や法話会がありますので、ぜひお参りください。

詳しくはHP、または別院まで電話にてお問い合わせください。



## 親鸞聖人(1173年～1262年)

親鸞聖人は平安時代から鎌倉時代にかけて90年のご生涯をおくられました。

9歳で出家され、二十年間、比叡山で修行されますが、迷いが晴れず、法然上人のもとを訪ねられます。そして「どんな人でも念仏(南無阿弥陀仏を称える)一つで救われる」という本願念仏の教えに出遇われました。



親鸞聖人

ところが、法然上人の念仏の教えが国家から弾圧され、法然上人や親鸞聖人たちは流罪になります。

その後、聖人は流罪地の越後から関東に移られ、すべての人が等しく救われる念仏の教えを伝え続けられました。

そして、1262年11月28日(旧暦)に、そのご生涯を閉じられました。

聖人が明らかにされた教えを聴き、生まれた意義と生きる喜びを見つけるのが真宗門徒です。

## 東本願寺

東本願寺は真宗大谷派の本山で、正式には「真宗本願寺」といいます。

御影堂には親鸞聖人の御真影(御木像)を、阿弥陀堂には御本尊の阿弥陀如来像を安置しています。



御影堂